



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 巢山 貴裕

TEL 03-6758-0455

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	852	17.5	112		129		142	
30年3月期第1四半期	1,033	3.1	119	260.9	115	333.8	84	333.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 143百万円 (%) 30年3月期第1四半期 84百万円 (302.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	65.04	
30年3月期第1四半期	38.54	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	2,661	472	17.7	215.82
30年3月期	2,650	615	23.2	281.22

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 472百万円 30年3月期 615百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控えさせていただきます。

なお、今後業績予想が可能になりました段階で改めて公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	2,237,720 株	30年3月期	2,237,720 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	48,743 株	30年3月期	48,733 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	2,188,982 株	30年3月期1Q	2,189,106 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、原油等の原材料価格の上昇、人件費や輸送費の高まりに加え、米中の追加・報復関税の表明により、貿易摩擦の激化が見込まれ、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、インターネット関連事業・通信事業・健康医療介護情報サービス事業を中心に、システム開発・保守・運用等のソリューションサービスを提供しております。また、当第1四半期連結会計期間より、M&Aにより新たに調剤薬局及びその周辺事業にも参入を果たしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績としましては、売上高が852百万円（前年同四半期比17.5%減）となりました。損益面におきましては、営業損失112百万円（前年同四半期は営業利益119百万円）、経常損失129百万円（前年同四半期は経常利益115百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失142百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益84百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間から、「調剤薬局及びその周辺事業」を報告セグメントとして新たに追加しております。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発、データセンターの運用・保守及び不動産仲介業者向けASPサービスの提供等を行い、売上高は233百万円（前年同四半期比42.8%減）となりました。

[通信事業]

MVNO（※1）、FVNO（※2）を中心とした情報通信サービス全般とISP（※3）の企画、開発、運営を行い、売上高は561百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

[健康医療介護情報サービス事業]

病院・薬局向けの薬歴管理・服薬指導業務支援システムの開発・販売・保守、医療情報管理ソフトウェアの販売・保守等を行い、売上高は51百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

[調剤薬局及びその周辺事業]

調剤薬局の運営を行い、売上高は16百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間のグループにおける薬局総数は5店舗となりました。今後もM&Aを積極的に活用し、当該事業を拡大して参ります。

[その他]

WEBサイトの企画・運営及び管理等を行い、売上高は0百万円（前年同四半期比47.5%減）となりました。

（※1）Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

（※2）Fixed Virtual Network Operatorの略。自社で固定回線のネットワークを持たず、他の事業者から借りてあるいは再販を受けて固定通信サービスを提供する事業者。

（※3）Internet Services Providerの略。公衆通信回線などを經由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業者。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、2,661百万円となりました。これは現金及び預金の減少411百万円、のれんの増加315百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ154百万円増加し、2,189百万円となりました。これは預り金の減少112百万円、長期借入金の増加187百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ143百万円減少し、自己資本比率は17.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することによって、業績予想の開示を控えさせていただいております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,974,152	1,562,861
受取手形及び売掛金	450,412	467,021
商品及び製品	11,994	35,949
仕掛品	15,814	46,230
その他	20,796	48,600
貸倒引当金	△3,902	△7,793
流動資産合計	2,469,268	2,152,869
固定資産		
有形固定資産	13,409	22,018
無形固定資産		
のれん	111,672	427,372
その他	8,850	8,477
無形固定資産合計	120,523	435,850
投資その他の資産		
敷金及び保証金	32,364	37,734
その他	71,502	69,675
貸倒引当金	△56,854	△56,565
投資その他の資産合計	47,013	50,844
固定資産合計	180,946	508,713
資産合計	2,650,214	2,661,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	450,941	549,434
短期借入金	570,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	84,007	106,344
未払金	76,256	106,018
未払法人税等	89,357	11,598
預り金	468,379	355,657
その他	106,618	115,761
流動負債合計	1,845,562	1,814,814
固定負債		
長期借入金	172,315	359,514
退職給付に係る負債	—	13
その他	16,748	14,825
固定負債合計	189,063	374,352
負債合計	2,034,625	2,189,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	402,887	402,887
利益剰余金	△1,827,919	△1,970,284
自己株式	△61,934	△61,950
株主資本合計	621,033	478,652
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,444	△6,238
その他の包括利益累計額合計	△5,444	△6,238
純資産合計	615,589	472,414
負債純資産合計	2,650,214	2,661,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,033,553	852,381
売上原価	702,460	631,522
売上総利益	331,092	220,859
販売費及び一般管理費	211,398	333,548
営業利益又は営業損失(△)	119,694	△112,688
営業外収益		
受取利息	49	115
為替差益	—	864
貸倒引当金戻入額	762	510
その他	457	529
営業外収益合計	1,269	2,021
営業外費用		
支払利息	5,578	3,831
為替差損	170	—
借入手数料	—	15,000
その他	—	85
営業外費用合計	5,749	18,916
経常利益又は経常損失(△)	115,215	△129,584
特別損失		
固定資産除却損	61	—
減損損失	5,336	800
特別損失合計	5,397	800
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	109,818	△130,384
法人税、住民税及び事業税	26,668	10,216
法人税等調整額	△1,214	1,764
法人税等合計	25,453	11,980
四半期純利益又は四半期純損失(△)	84,364	△142,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	84,364	△142,365

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	84,364	△142,365
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	132	△793
その他の包括利益合計	132	△793
四半期包括利益	84,496	△143,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,496	△143,158
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	インターネット 関連事業	通信事業	健康医療介護 情報サービス 事業	遺伝子情報サ ービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	392,376	569,827	50,251	20,552	1,033,007	545	1,033,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,729	509	354	—	16,593	342	16,936
計	408,106	570,337	50,605	20,552	1,049,601	887	1,050,489
セグメント利益 又は損失(△)	88,621	81,926	△12,829	△6,827	150,890	△1,689	149,200

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ECサイト関連事業及び海外事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	150,890
「その他」の区分の利益	△1,689
セグメント間取引消去	137
全社損益(注)	△29,643
四半期連結損益計算書の営業利益	119,694

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	インターネット 関連事業	通信事業	健康医療介護 情報サービス 事業	調剤薬局 及びその 周辺事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	223,864	560,974	50,916	16,494	852,249	132	852,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,621	696	218	—	10,536	333	10,870
計	233,485	561,670	51,135	16,494	862,786	465	863,251
セグメント利益 又は損失(△)	△15,646	68,568	△10,793	△89,048	△46,920	△675	△47,595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ECサイト関連事業及び海外事業を含んでおります。

2. 「調剤薬局及びその周辺事業」については、有限会社ビーライクを完全子会社化し、連結の範囲に含めておりますが、みなし取得日を平成30年6月30日としているため、当第1四半期連結会計期間においては、当該子会社の四半期貸借対照表のみを連結しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△46,920
「その他」の区分の利益	△675
セグメント間取引消去	△2
全社損益(注)	△65,091
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△112,688

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ（当社及び連結子会社10社）は、平成30年4月1日付にて調剤薬局及びその周辺事業を推進する会社を設置すると共に、健康医療介護情報サービス事業の機能集約をはかり、資源を効率的に活用可能な体制整備のため、グループ内組織再編を実施いたしました。

これに伴い、当第1四半期連結会計期間から、「調剤薬局及びその周辺事業」を報告セグメントとして新たに追加しております。

「遺伝子情報サービス事業」については、本事業の主体であった株式会社ジーンクエストを平成29年10月1日付で株式交換を行い連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期よりセグメント区分から削除しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局及びその周辺事業」セグメントにおいて、のれんの金額に重要な変動が生じております。有限会社ビーライクの連結子会社化、ルナ調剤株式会社での有限会社ティエヌ商会からの事業譲受が主な要因となっております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては320,722千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。